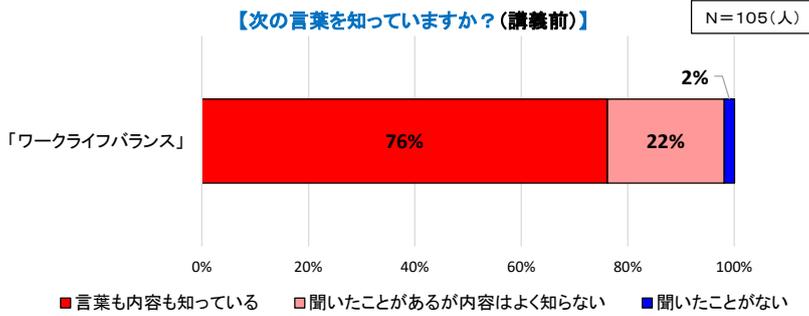
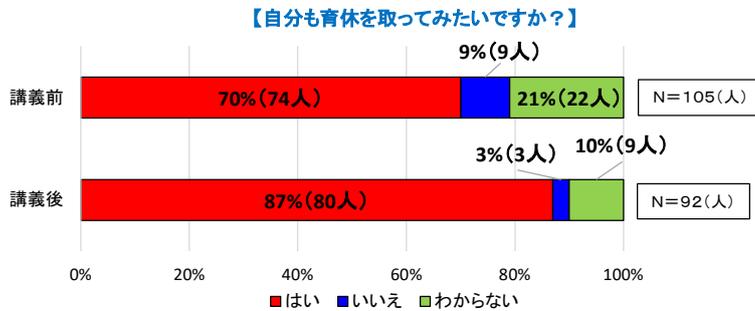


<2025年度 医と社会Ⅲ学生キャリア講習会 講義前後アンケート結果>



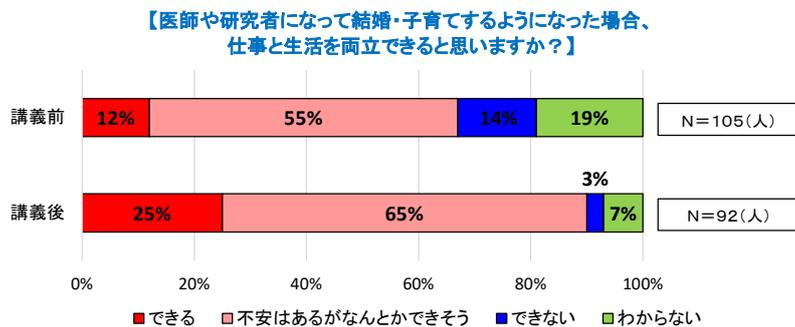
●2025年度の受講予定者130人(男性84人、女性46人(女性の割合35%))のうち、アンケート回答者は、講義前105人、講義後92人でした。「ワークライフバランス」という言葉を知ったことがある割合は、アンケートを開始した2014年で50%程度でしたが、現在ではほとんどの学生が耳にしたことがあると回答しました。学校の授業やメディアでも取り上げられ広く浸透しています。

●現時点での将来の不安については、「不安がある」割合が講義前72%→講義後60%で講義前に比べると減少しています。また、将来に対する不安の内容(複数選択)で最も多かったのが「キャリア形成」19.5%で、次いで「診療科の選択」17.5%と「仕事と生活の両立」17.2%がほぼ同程度の割合でした。将来どのような医師になるかという専門的な方向性の問題と同時に、働き方や私生活とのバランスにも高い関心を持っているようでした。



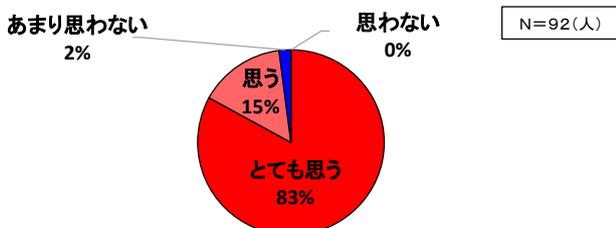
●「産休」「育休」の言葉はそれぞれ90%以上の割合で認知され、出生時育児休業(産後/パパ育休)という言葉も90%近くの学生が知っているという結果でした。講義後の「自分も育休を取ってみたい」学生の割合は80%以上で、講義前に比べると増加しています。

●将来の進路を決定する時に重視するもの(3つまで選択)のランキングは、講義前:1位「仕事の内容」2位「雰囲気の良い科」3位「やりがい」、講義後:1位「仕事の内容」2位「その領域の研究に興味」3位「やりがい」でした。自分の価値観や達成感を重視して進路を考える傾向は講義前後で一貫しており、講義後は様々な分野で活躍している医師の講演を通して、より専門的な視点で進路を考える学生が増加したようでした。

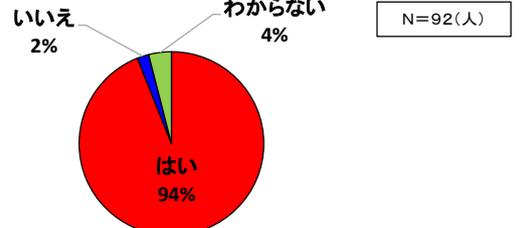


●仕事と生活の両立については、講義の前後で「できる」前12%→後25%、「なんとかできそう」前55%→後65%へと増加して、講義後の両立への自信は90%と高い割合に到達しました。「できない」「わからない」の割合はいずれも講義後に減少し、また、「今回の講義が将来役に立ちそうだ」と答えた学生は94%となり、講義の意義があったと感じました。

【ワークライフバランスの考え方は重要だと思いますか？(講義後)】



【今日の講義は将来役に立ちそうですか？(講義後)】



●世代間意識ギャップについて

【昭和世代の価値観であなたが違和感を覚えることは何ですか？】

講義前の結果では、男性の16%(10人)が、「特にない」という回答でしたが、女性は3%(1人)でした。男女ともに多かったのは、「残業があたりまえ」に対する違和感でした。働き方改革を目の当たりにしている世代であり、勤務時間に関する意識は高いようです。他には、性別役割分担意識に基づくものが多く、以下の意見が出ていました。

「男性は育休が取りづらい、取得しても短い」「男性は働き、女性は家事育児をする」「男性はきつい仕事をする」「男性は当直をする」「医師は男性メイン、外科は男性メイン」。男性からのみの意見として「男性のほうが採用されやすい」「男性が奢るのがあたりまえ」「女性は寿退社」「飲み会」「自己研鑽」などが挙がりました。女性からのみの意見では、「管理職は男性」「男尊女卑」「女性はキャリアが中断する・キャリア形成が難しい」「女性が家事を行い、男性はそれを手伝う」等々、「女性は〇〇しなければ」に対する違和感が多数挙がりました。講義後の結果では、基調講演やロールモデル医師の講演を聴きした後で、「男性は育休が取りにくい」ことに違和感を覚える学生が倍増しました。「残業が当たり前」「男性は働け」「男性は当直するのが当たり前」なども講義前同様に挙がりました。女性からは「女性の幸せとは…」に対する違和感が挙がっていました。

【あなたが考えるワークとライフの「令和モデル」とは何ですか？】

講義前後を比べると、ロールモデル医師の講演の中で使われた「ワークライフハーモニー」という言葉への共感と、「男性育休が取りやすいこと」が増加し、「家族・夫婦・パートナー」という言葉がより多く使われていました。講義前後において共通で多く挙がったのは、「性別にかかわらず、機会が平等に与えられること」「個々人それぞれのバランスで、仕事も生活も充実させること」「適切な勤務時間(脱長時間・残業代あり・働きたい人は働きたいだけ働くことも含める)」「育休や休暇が取りやすいこと」そのような職場環境で仕事を頑張りたいという意見が多く見受けられました。

●学生からは以下のような感想がありました。

- ・将来の不安が減ってとても有意義な講義だった。
- ・将来のことを漠然と考えていたが、今回自分のキャリア、ライフプランをじっくり考えることができてよかった。
- ・普段の講義では聞けないことがたくさんあり、大変勉強になった。また、将来の不安が少し減ったような気がする。
- ・現在進行形でキャリアを積上げている先生方の経験が聞けてとてもよかった。
- ・ワークライフバランスについて具体例を用いながら考えることができるいい機会となった。ワークライフハーモニーという言葉が印象的だった。
- ・自分の知らないことが知れて、将来困ったときには相談できるところが沢山あることを知り、安心した。
- ・自分の現段階でのキャリアプランを見直す良いきっかけになった。先輩方がどのような思いで医師として働いているのかについてよく理解することができた。
- ・キャリア形成を考える上で、身近にいる医師の話参考にしがちだが、普段出会わないようなキャリアを積み重ねてきた方々のお話を聞いて、自分の選択肢が広がった。
- ・刺激的な講義ばかりで、他人の人生を覗く濃密な体験ができた。それらを踏まえて自分のしたいこと、すべきことを遂行するためにどんな道筋を歩めばよいか見えてきた気がした。
- ・たくさんの先生のお話を聞き、もやがかかったようだった自分の将来が、少しではあるが見えるようになった。いろんな先生が子育ても大変そうだったが、何とかなっって充実した私生活を送られていて、私も何とかかなるかな、という気持ちになってきた。